

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 4 月 25 日

横浜市長 殿



提出者

住所 横浜市鶴見区駒岡4丁目20番21号

氏名 (株)坂本茂商店 代表取締役 坂本一幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 045-571-1566

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)坂本茂商店 坂本生コン		自主管理番号	( 2651 )
事業場の所在地	横浜市鶴見区獅子ヶ谷2丁目38番32号		TEL(連絡先):	045-573-6061
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)			
当該事業場に関する事項				
① 事業の種類	E21-窯業・土石製品製造業	(具体的には)	生コンクリート製造	
② 事業の規模  ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	754 百万円	
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円	
	医療機関	病床数	床	
	その他の業種	売上高	百万円	
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	19			
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程  ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	残コン、戻りコンの処理、ミキサー車及びプラントの洗浄等で発生したスラッジ水(汚泥水)を、脱水機にて処理し、発生した脱水ケーキを乾燥後、再生利用者へ全量処理委託。			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括者(社長)→技術管理者(中間処理施設コース)→技術係・・・マニフェスト発行  
→運搬依頼((有)原口陸運)→最終処理及び再生利用((有)関戸商事 せきどエコ・プラント津久井)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】
	産業廃棄物の種類数 1 種類 * 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。 ① 排出量 2,090.0 t
	(これまでに実施した取組)
② 計画	【(令和5年度)目標】
	産業廃棄物の種類数 1 種類 * 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。 ① 排出量 1,800.0 t
	(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和5年度)目標】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和5年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和5年度)目標】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	⑩ 全処理委託量	2,090.0	t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	2,090.0	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	
(これまでに実施した取組)				

② 計画	【(令和5年度)目標】			
	⑩ 全処理委託量	1,800.0	t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,800.0	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t	
(今後実施する予定の取組)				
※ 事務処理欄				



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

別紙処理フロー

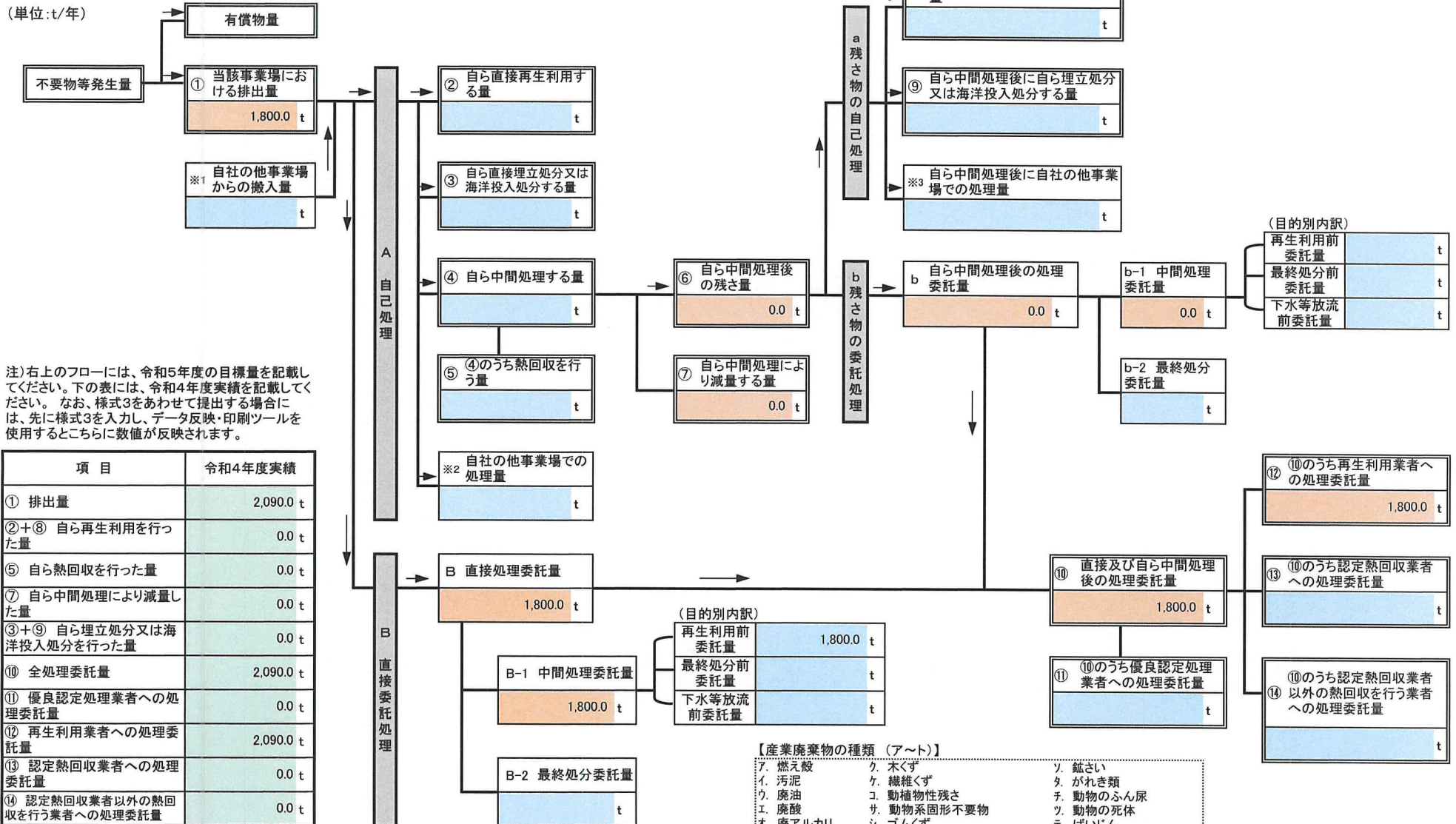
事業場名称：(株)坂本茂商店 坂本生コン

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
------------------	---------------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	2,090.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2,090.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2,090.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動植物性残さ
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 鉱さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

2-1 法定 自主  
○

別紙一括表

事業場名称: (株)坂本茂商店 坂本生コン

(単位:トン)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	合計
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	混合廃棄物その他	
① 排出量														2,090.0							2,090.0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量														0							0
⑤ 自ら熱回収を行った量														0							0
⑦ 自ら中間処理により減量した量														0							0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量														0							0
⑩ 全処理委託量														2,090.0							2,090.0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量														0							0
⑫ 再生利用業者への処理委託量														2,090.0							2,090.0
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量														0							0
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量														0							0
① 当該事業場における排出量														1,800.0							1,800.0
※1 自社の他事業場からの搬入量																					
② 自ら直接再生利用する量																					
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																					
④ 自ら中間処理する量																					
⑤ ④のうち熱回収を行う量																					
※2 自社の他事業場での処理量																					
⑥ 自ら中間処理後の残さ量																					
⑦ 自ら中間処理により減量する量																					
⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量																					
⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																					
※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量																					
b 自ら中間処理後の処理委託量																					
b-1 中間処理委託量																					
再生利用前委託量																					
最終処分前委託量																					
下水等放流前委託量																					
b-2 最終処分委託量																					
B 直接処理委託量														1,800.0							1,800.0
B-1 中間処理委託量														1,800.0							1,800.0
再生利用前委託量														1,800.0							1,800.0
最終処分前委託量																					
下水等放流前委託量																					
B-2 最終処分委託量																					
⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量														1,800.0							1,800.0
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																					
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量														1,800.0							1,800.0
⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量																					
⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					

令和5年度目標

日直接委託処理

A 自己処理

自己残さ物の処理